

# 新木近隣センターだより 第269号

令和5年1月21日  
 新木地区まちづくり協議会  
 広報部会発行  
 我孫子市新木 1500  
 新木近隣センター内  
 Tel 04-7188-2010  
 araki1994@kxb.biglobe.ne.jp



お正月、よい天気が続きました。空気が乾燥しています。こまめに喉をうるおして、風邪に備え、火の元にも気をつけていきましょう。干支のウサギのように、元気に飛び跳ねる事のできる1年でありますように。今年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

新木近隣センターだより270号は、3月18日(土)に発行します

## 新年のご挨拶

新木地区まちづくり協議会 会長 宮下克彦

新年あけましておめでとうございます。昨年末には新型コロナウイルス感染症の感染対策が緩和され、明るい新年になると思いましたが、年明けから

再び感染拡大が報道され、混沌とした幕開けとなりました。2023年こそは光明を見だし、明るい安定した年になるように期待しています。

新木地区まちづくり協議会は、本年設立30周年を迎えます。これも我孫子市、自治会、サークル、学校の皆様をはじめ地域の方々のご支援があったからであります。心から感謝申し上げます。新たな歴史



を築くためにまち協委員も地域の皆様と創意工夫を凝らし活動してまいりますので、より一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。本年も皆さまにとって素晴らしい年になりますよう祈念し、新年のご挨拶と致します。



南新木の初日の出

◆◆らくらく健康体操◆◆ 

バランスボールで  
楽しく健康



日時：2月22日(水) 10時~11時30分  
 場所：新木近隣センター多目的ホール  
 講師：高橋 真弓さん (バジガールズ)   
 人数：先着20名  
 申込み開始日：2月4日より新木近隣センターへ  
 ☎04-7188-2010 参加費：無料  
 注意事項：運動できる服装で、飲み物・上履き持参  
 マスク着用、ボールは主催者が準備します  
 共催：新木地区まちづくり協議会・湖北地区社会福祉協議会

新木ふれあい文化講演会

我孫子の空を  
渡る鳥たち

我孫子鳥の博物館 学芸員  
小田谷嘉弥氏



2月26日(日) 10時~11時20分  
 新木近隣センター多目的ホール  
 入場無料 先着150名  
 マスク着用、上履き持参  
 主催 新木地区まちづくり協議会  
 問い合わせ ☎ 04-7188-2010

## はっけん あらきウォークラリー案内

日 時：3月18日（土）～21日（火・祝）

10時～15時

場 所：近隣センター（スタート&ゴール）

6か所を巡る

参加費：大人 50円、18歳未満は無料

内 容：新木地区の12カ所をチェックポイントとし、その内の6か所を回り、問題を解いてください。

参加賞：有り

## 「新木ふれあいわんとり」開催

1月15日新木小学校校庭で「新木ふれあいわんとり」が行われました。今年の子供用ボランティアの小屋掛けも出現。12時から、あわんとりのお囃子の中、市役所から海老原部長・小池課長・榎本主任、新木小齋藤校長先生、手塚教頭先生、湖北中大島校長先生、佐藤教頭先生、佐藤PTA会長、新木ま

ちづくり協議会宮下会長、子供ボランティアの皆さんで小屋掛けに点火されました。竹の弾ける音と共に空まで燃え上がる炎に向かい、新木地区の無病息災をお祈りしました。子供ボランティアに参加した皆さんからは「やぐらを組むのが体験出来て楽しかった」「来年もまた参加したい」との嬉しい感想を頂きました。



## 歌声喫茶 in 新木



新型コロナウイルス感染症対策を施して、鳥谷部さんの伴奏と一緒に歌います。コロナ感染状況により、変更もあります。

**場 所** 新木近隣センター 多目的ホール

**日 時** 3月18日(土) 13:30~15:00

**内 容** 鳥谷部由美子さんの伴奏で歌います

**参加費** 500円

**申し込み** 受付開始 3月4日(土) 先着40名  
新木近隣センター 電話 7188-2010

**注意事項** マスク着用・履物持参  
本人または同居人に発熱や風邪の症状がある方、感染者との濃厚接触者は参加できません

**主 催** 新木地区まちづくり協議会

## 子供料理教室～簡単おやつづくり～

12月18日午後から木田典子講師の指導により、参加者12名で始めました。最初にミカンゼリーから「缶詰ミカン、分けた汁を少し温めゼラチンを入れよく混ぜ、オレンジジュースを加えミカンの入った器に注いで冷蔵庫で冷やす」。次はバナナカップケーキ「バナナを細かく切り、バターはレンジで溶かす、卵を入れよくほぐし、材料を全部入れる。カップケーキの



入れ物に入れ、180度のオーブンで15分焼く」。最後にチョコチップ入りクッキー「ホットケーキミックス粉、はくりき粉、卵、ペーストバター、砂糖、チョコチップ、全部を混ぜ、手で丸くしコップの底などで押さえて、3ミリぐらいの厚さにし、200度のオーブンで10分焼く」。

子どもたちは真剣な表情で参加していました。出来上がったおやつをみんなで食べ、私もミカンゼリーをおいしくいただきました。

## 『しめ飾り講習会』開催

12月25日、新木近隣センターにて「しめ飾り講習会」が開催されました。鷹觜（たかのはし）講師と3名の協力スタッフ指導のもと、しめ飾りの謂れから教わりました。藁をゴボウ締めにして輪を作るしめ縄造りの作業は難しく、皆さんずいぶん苦勞していましたが、完成したしめ飾りを手にした皆さんの顔はどこか誇らしげに見えました。最後に円陣を組み、自作のしめ飾りを前に、健康で来年も良い年でありますようにとお祈りしました。



## 『年末大掃除』実施

12月24日に新木近隣センターの「年末大掃除」が行われました。近隣センターで活動しているサークルの人達、まちづくり協議会の有志、総勢24名によってセンター内外も掃き清められました。



ゴミ袋はなんと28袋に（皆さん

## ふらりえ新木野 NOW 2月の予定

2月 2日 (木)	13:30～	斎木先生の健康体操
2月 4日 (土)	13:30～	おしゃべりの会
2月 7日 (火)	13:30～	鳥谷部先生の歌声喫茶
2月 9日 (木)	13:30～	つるし雛飾り
2月11日 (土)	13:30～	折り紙教室
2月14日 (火)	13:30～	昭和の歌謡を聴く会
2月16日 (木)	13:30～	おしゃべりの会
2月18日 (土)	13:30～	座って練功・八段錦
2月21日 (火)	13:30～	斎木先生の健康体操
2月23日 (木)	13:30～	つるし雛飾り
2月25日 (土)	13:30～	折り紙教室
2月28日 (火)	13:30～	ウゴサイ (認知症予防体操)

んの頑張りを物語っています)。コロナ禍を払い、新年を迎える準備を整えることができました。

## 冬の田んぼに暮らす鳥たち

文・写真：我孫子市鳥の博物館学芸員 岩本 二郎

新年あけましておめでとうございます。2023年も鳥の博物館をよろしくお願い致します。

さて、今月の話題に入りたいと思います。冬の田んぼに生息している鳥たちの暮らしぶりをご紹介します。

冬は鳥たちの餌が少なくなる季節です。そのため、冬の田んぼにある二番穂が鳥たちの貴重な餌となります。夏から秋に刈り取られた後の稲の株から伸びてくる穂を二番穂といいます。この二番穂に入っているお米がカルガモなどのカモの仲間や、スズメなどの種子を食べる小鳥たちの貴重な食糧になります。二番穂を食べるのは、鳥だけではなく、ハタネズミなどの小型の哺乳類も集まってきます。これを狙ってやってくるノスリやチョウゲンボウなどの猛禽類に出会うこともよくあります。また、冬に乾燥して生物の気配に乏しくなる農地の中で、湿った田んぼの土の中にはミミズなどの土壌動物も多く生息しています。タシギやタゲリなどは、これらの動物を見つけ出してよく食べています。タゲリは頭に長く伸びたユニークな羽毛を持ち、体の羽毛には緑色の金属光沢があって美しく、私の個人的な感想ではありますが、この鳥に出会えると、なぜかうれしくなります。(写真1参照)。



写真1 タゲリ

冬の田んぼで特に鳥を見やすいのは、稲の株を鋤き込む作業を行っている時です。農家の方がトラクターを使って耕す時、土の中に隠れていた昆虫の幼虫やミミズなどが土と一緒に地表に掘り起こされ、鳥たちにとっては格好の餌場となります。このタイミングを逃がすまいと、鳥たちは人を恐れず集まってきて、トラクターの後をついて歩きます。アオサギ、ツグミ、ハクセキレイ、タヒバリ、タゲリなどがこのような鳥の集合に加わります。私は1月3日に、アオサギが掘り起こされた冬眠中のカエルを捕らえる瞬間を観察しました(写真2参照)。



写真2 カエルの1種を食べるアオサギ

皆さんも是非、冬の田んぼで鳥を探して観察してみてください。ただし、田んぼをはじめとする農地は、農家さんにとっては大事な仕事場です。作業の邪魔になるような行動は慎み、マナーを守った観察を心がけましょう。

### 我孫子市 鳥の博物館

休館日：月曜日 開館時間：9：30～16：30

入館料：一般 300円 高校・大学生 200円 小中学生以下、70歳以上は無料

問い合わせ：04-7185-2212

アクセス：我孫子駅南口から、東我孫子車庫行きバスで市役所下車、徒歩5分

